

1 基本方針（案）

◆思惟エリア周辺の考え方

・道の駅の計画地である「思惟エリア」は、思惟の森などの地域資源や生きがいの館などの周辺施設との連携が可能な場所となっています。国道45号からアクセス可能な場所に位置し、三陸沿岸道路と隣接しており、村の玄関口としての役割が求められています。

【整備の基本的な考え方】

「美しい豊かな大自然とその恵みを生かして、世代を超えてみんなに愛され、多くの人  
が集い、にぎわう、田野畑の魅力満載の交流拠点づくり」



写真データ：国土交通省・三陸国道事務所より

コンセプト

“道の駅 田野畑「思惟の郷」”

- ① 村民が日常的な買い物の場として使える道の駅
- ② キラーコンテンツ（ここでしか買えない商品）を持っている道の駅
- ③ 村の知られざる料理や、地元素材を活用した創作料理を味わえる道の駅
- ④ トラックドライバーの休憩ポイント（場所）となる道の駅
- ⑤ 村民と、観光客、それぞれのゲートウェイ（玄関口）となる道の駅
- ⑥ 災害対応拠点となる道の駅

2 導入機能（案）

施設	導入機能
道路休憩施設	<b>① 駐車場</b> ・ドライバーの休憩施設として、小型車、大型車の駐車場を設置するとともに、ゆとりある動線、スペースが必要 （小型車、大型車、身障者、子育て支援用、二輪車用、RVパーク（キャンピングカー対応））
	<b>② 24時間トイレ・子育て関連施設</b> ・清潔感のある広々としたトイレ ・子どもトイレや、女性用ドレッシングルーム、子育て関連設備（授乳室・おむつ替え台）など ・災害発生時を想定した設備（給水タンク等）
	<b>③ 24時間休憩スペース（道路情報・地域観光情報コーナー）</b> ・様々な道路利用者（ドライバー等）が、気兼ねなく休憩できるようなスペース、シャワー施設 ・必要な情報を大型ディスプレイ、情報端末、展示スペースなど ・観光情報の発信については、スマホ世代に対応した設備・内容とすることが期待 ・道の駅を軸とした観光地への誘客出来るサービス ・辞職坂の歴史をまとめた物語動画、観光案内情報等の動画やジオラマ（観光資源など展示物を立体的に視認できるもの）が体感できるコーナー
地域振興施設	<b>① 産直・物販施設</b> ・品揃えが豊富で、活気あるように見えるような空間（季節感を演出できる工夫） ・商品の品揃えは、地場産に拘らず、全国の様々な商品を買うことができるようにする ・テナントショップ、チャレンジショップコーナー（中学校仮会社や村民も気軽に挑戦できるコーナー）
	<b>② 飲食施設</b> ・カフェ（コーヒー、読書が楽しめる場所） ・フードコートコーナー（飲食が可能な共有スペース）を設け、村の知られざる料理（郷土料理）や、地元素材を活用したオリジナル料理の提供 ・ソフトクリームや牛乳、コーヒーなどを持ち帰りができるコーナー
	<b>③ ナカミチ（交流スペース）</b> ・村民がふらっと気軽に集まることができる空間（村のおじいちゃん、おばあちゃんが子どもたちの面倒を見たり、絵本を見ながらお茶を飲んだりする交流する場所）
	<b>④ 加工・体験場</b> ・地場特産品加工場 ・自分で作る体験ができるコーナー（地元の料理教室の会場としての活用） ・バーベキューコーナー（村内や道の駅で買ったシイタケや産物などを焼いて食べるコーナー）
	<b>⑤ 防災・災害対応</b> ・非常用発電設備や給水タンク、マンホールトイレなど ・大規模災害発生時における支援団体などの活動拠点、避難者（ドライバーなど）の一時避難場所
	<b>⑥ 空間演出 ほか</b> ・生きがいの館が道の駅から見える ・畑や直産やレストランを連動させて、食の流れを見せる ・建物内部から広場で子供たちが遊ぶ様子が見える ・地形を生かしたドッグラン（飼い犬を遊ばせる空間）や動物のふれあいの場 ・地形を生かしたアクティビティ（活動や遊べる）施設

## 全体配置画図

■床面積 約 1,000 m<sup>2</sup>

■道路休憩施設

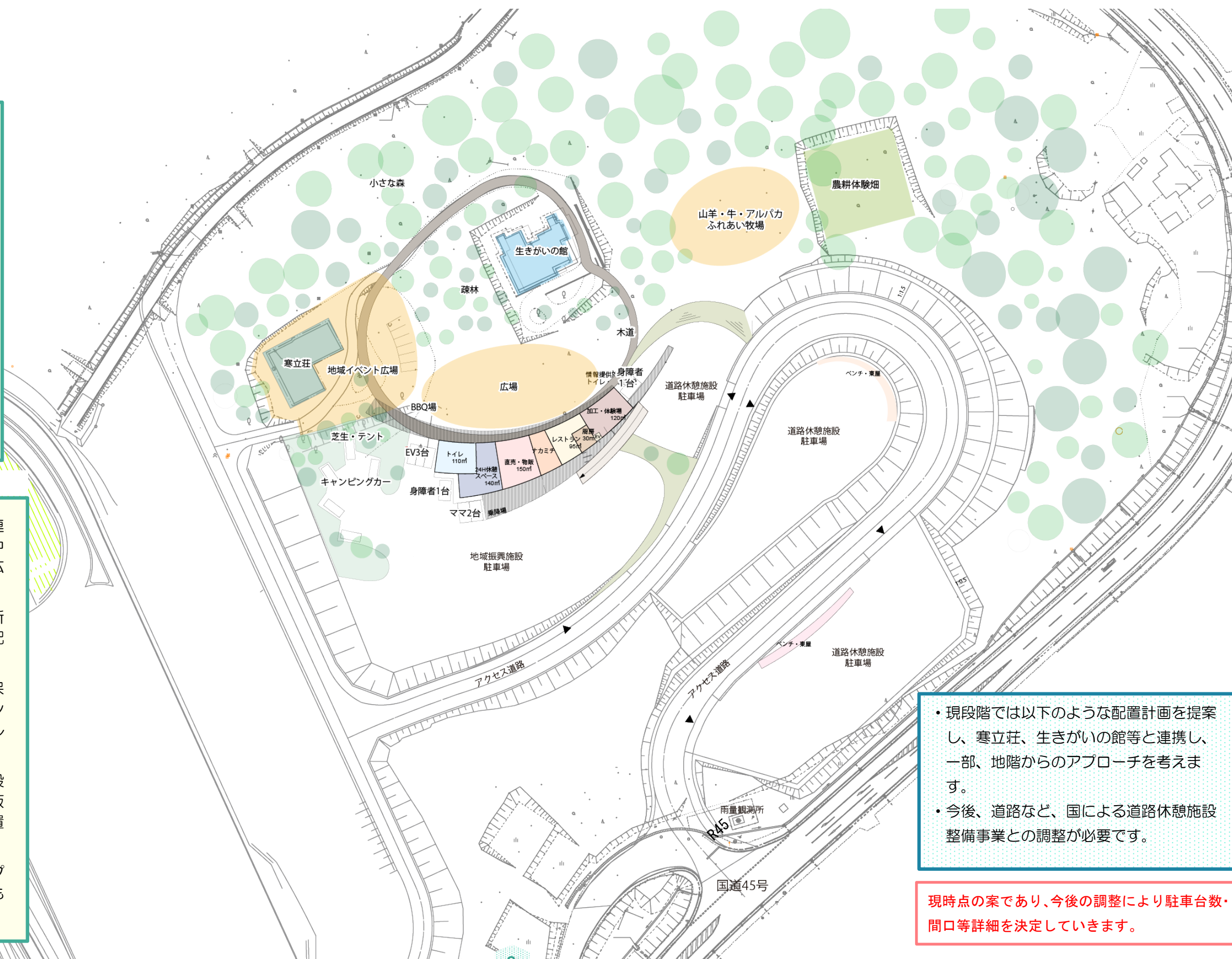
- ・駐車場
- ・24時間トイレ
- ・情報発信・休憩施設

■地域振興施設

- ・駐車場
- ・直産・物販施設
- ・加工施設
- ・レストラン
- ・付帯施設（倉庫・事務所）

◆配置計画の特徴

- ・生きがいの館、寒立荘との連携が図れる動線を確認し、中央にイベントが可能な交流広場を配置します。
- ・また、農業体験が可能な場所や動物と触れ合える空間も配置します。
- ・キャンプが出来る場所も確保し、RV車対応（キャンピングカー）のスペースも確保します。
- ・交流が出来るナカミチを施設の中心に配置し、産直・物販施設、飲食施設を両側に配置計画をします。
- ・トイレについては、キャンプや周辺施設利用者のためにも配慮しています。



・現段階では以下のような配置計画を提案し、寒立荘、生きがいの館等と連携し、一部、地階からのアプローチを考えます。

・今後、道路など、国による道路休憩施設整備事業との調整が必要です。

現時点の案であり、今後の調整により駐車台数・間口等詳細を決定していきます。